### 昭和二十三年総理庁令第二十九号

最高裁判所裁判官国民審査法施行規則を次のように定める。

(審査予定裁判官に関する通知事項)

第一条 最高裁判所裁判官国民審査法施行令(昭和二十三年政令第百二十二号。以下「令」とい 法律第百三十六号。以下「法」という。)第十四条第一項又は第二項の規定により投票用紙に法 う。)第一条に規定する総務省令で定める事項は、最高裁判所裁判官国民審査法(昭和二十二年 めたときはその旨その他中央選挙管理会が必要と認める事項とする。 中央選挙管理会が同一氏名の裁判官を区別するに足りる事項として投票用紙に記載する事項を定 官」という。)としてその氏名を印刷する者の中に同一氏名の者が二人以上ある場合において、 第一条に規定する審査(以下「審査」という。)に付される同条に規定する裁判官(以下「裁判 7

第二条 令第三条第四号に規定する総務省令で定める事項は、前条に規定する場合において、中央 選挙管理会が同一氏名の裁判官を区別するに足りる事項として投票用紙に記載する事項を定めた ときはその旨その他中央選挙管理会が必要と認める事項とする。 (審査に付される裁判官に関する通知事項)

第三条 審査の投票用紙は、別記第一号様式に準じて調製しなければならない。

2 点字による審査の投票を行う場合における投票用紙は、前項の規定にかかわらず、別記第二号 様式その一に準じて(当該投票用紙のうち法第十六条の四に規定する在外投票に用いるものにあ つては、別記第二号様式その二により)調製しなければならない 8

三号様式その一に準じて、同条第九項の規定による審査の投票を行う場合における投票送信用紙 は別記第三号様式その二に準じて調製しなければならない。 第四十九条第七項又は第八項の規定による審査の投票を行う場合における投票送信用紙は別記第 法第二十六条の規定によりその例によることとされる公職選挙法(昭和二十五年法律第百号) 1

いるものを除く。)は、第一項の規定にかかわらず、別記第四号様式により調製しなければなら法第十六条の四に規定する在外投票を行う場合における投票用紙(点字による審査の投票に用

(在外投票用の投票用紙等請求書の様式)

第八十九号)第六十五条の三第一項及び第六十五条の十一第一項に規定する請求書の様式は、在第四条 令第十三条の規定によりその例によることとされる公職選挙法施行令(昭和二十五年政令 外選挙執行規則(平成十一年自治省令第二号)別記第十五号様式に準じて作成しなければならな

(投票録、開票録、審査分会録及び審査録の調製)

第五条 審査の投票録、審査の開票録、審査分会録及び審査録は、それぞれ別記第五号様式から第 八号様式までに準じて調製しなければならない。 5

(投票及び開票に関するその他の事項)

第六条 法及び令並びにこれらに基づく命令に規定するもののほか、審査の投票については、 院小選挙区選出議員の選挙の投票の例による。 衆議

(裁判官の氏名等の掲示における掲示事項)

第七条 令第十九条第二項に規定する総務省令で定める事項は、令第十八条第七号に規定する裁判 当該氏名及び任命年月日が同一である者を区別するに足りる事項として中央選挙管理会が定める 官の氏名等の掲示に掲載する審査に付される裁判官の中に氏名及び令第一条に規定する任命年月 (以下この条において「任命年月日」という。) が同一である者が二人以上ある場合において、

この命令は、公布の日から、これを施行する。

則 (昭和二七年八月一六日総理府令第五六号) 抄

この府令は、昭和二十七年九月一日から施行する。

1

(昭和三三年四月二二日総理府令第三〇号)

則 (昭和五八年三月一一日自治省令第七号)

日を告示される審査について適用し、施行日の前日までにその期日を告示された審査につ この省令による改正後の最高裁判所裁判官国民審査法施行規則の規定は、施行日以後にその この省令は、公布の日から施行する。

て期

なお従前の例による。 (昭和五八年一一月二四日自治省令第二七号)

この省令は、公布の日から施行する。

2 この省令による改正後の最高裁判所裁判官国民審査法施行規則の規定は、この省令の施行の 日を告示された審査については、なお従前の例による。 (以下「施行日」という。) 以後にその期日を告示される審査について適用し、施行日前にその期

則 (平成元年四月一四日自治省令第一七号)

この省令は、公布の日から施行する。

則 (平成六年一一月二五日自治省令第四一号) 抄

る。 この省令は、公職選挙法の一部を改正する法律(平成六年法律第二号)の施行の日から施行す

規定は、施行日以後その期日を告示される投票又は審査について適用し、 の期日を告示された投票又は審査については、なお従前の例による。 前二項の規定による改正後の地方自治法施行規則及び最高裁判所裁判官国民審査法施行規則 施行日の前日までにそ

則 (平成一〇年一月三〇日自治省令第一号) 抄

成十年六月一日)から施行する。 前二項の規定による改正後の地方自治法施行規則及び最高裁判所裁判官国民審査法施行規則 この省令は、公職選挙法の一部を改正する法律(平成九年法律第百二十七号)の施行の日 伞

5 規定は、施行日以後その期日を告示される投票又は審査について適用し、 の期日を告示された投票又は審査については、なお従前の例による。 施行日の前日までにそ

則 (平成一二年九月一四日自治省令第四四号)

三年一月六日)から施行する。 この省令は、内閣法の一部を改正する法律(平成十一年法律第八十八号) の施行の日 (平成十

則 (平成一五年七月二四日総務省令第一〇〇号)

成十五年十二月一日)から施行する。 この省令は、公職選挙法の一部を改正する法律(平成十五年法律第六十九号)の施行の 日 伞

にその期日を告示された選挙又は審査については、なお従前の例による。 則の規定は、施行日以後その期日を告示される選挙又は審査について適用し、施行日の前日まで 議員及び長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う投票方法等の特例に関する法律施行規 前二項の規定による改正後の最高裁判所裁判官国民審査法施行規則及び地方公共団体の議会の

(平成二八年五月二七日総務省令第六二号)

から施行する。 この省令は、公職選挙法等の一部を改正する法律(平成二十七年法律第四十三号)の施行の日

2 この省令による改正後の公職選挙法施行規則、最高裁判所裁判官国民審査法施行規則、 三条の規定を除く。)は、この省令の施行の日(以下この項において「施行日」という。)の翌日 投票方法等の特例に関する法律施行規則の規定(第三条による改正後の在外選挙執行規則第二十 挙執行規則及び地方公共団体の議会の議員及び長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う この項において「公示日」という。)以後その期日を公示され又は告示される選挙又は審査につ めてその期日を公示される参議院議員の通常選挙の期日の公示の日のうちいずれか早い日(以下 以後初めてその期日を公示される衆議院議員の総選挙の期日の公示の日又は施行日の翌日以後初 在外選

なお従前の例による。 いて適用し、公示日の前日までにその期日を公示され又は告示された選挙又は審査については、

# (平成二八年一二月二六日総務省令第一〇〇号)

1 年法律第九十四号)附則第一条第一号に掲げる規定の施行の日(平成二十九年一月一日)から施 この省令は、公職選挙法及び最高裁判所裁判官国民審査法の一部を改正する法律(平成二十八

2 示された審査については、なお従前の例による。 以後その期日を告示される審査について適用し、この省令の施行の日の前日までにその期日を告 この省令による改正後の最高裁判所裁判官国民審査法施行規則の規定は、この省令の施行の日 附

## 則 (令和元年五月三一日総務省令第一二号)

この省令は、公布の日から施行する。

#### 附 則 (令和元年五月三一日総務省令第一三号) 抄

この省令は、令和元年六月一日から施行する。

2

れ又は告示された選挙又は審査については、なお従前の例による。 は告示される選挙又は審査について適用し、この政令の施行の日の前日までにその期日を公示さ 十号様式及び別記第三十一号様式を除く。)は、この省令の施行の日以後その期日を公示され又 七条の四、別記第十三号様式の九、別記第十三号様式の九の二、別記第二十五号様式、別記第三 投票方法等の特例に関する法律施行規則の規定(第一条による改正後の公職選挙法施行規則第十 挙執行規則及び地方公共団体の議会の議員及び長の選挙に係る電磁的記録式投票機を用いて行う この省令による改正後の公職選挙法施行規則、最高裁判所裁判官国民審査法施行規則、在外選

#### (令和五年二月一〇日総務省令第六号) 抄

(施行期日)

第一条 この省令は、最高裁判所裁判官国民審査法の一部を改正する法律の施行の日(令和五年二 月十七日)から施行する。

(適用区分等)

施行の日(以下「施行日」という。) 以後その期日を告示される審査について適用し、施行日の第二条 第一条の規定による改正後の最高裁判所裁判官国民審査法施行規則の規定は、この省令の 施行の日(以下「施行日」という。)以後その期日を告示される審査について適用し、 前日までにその期日を告示された審査については、なお従前の例による。

#### 別記 第一号様式(投票用紙の様式)(第三条関係)

第一号様式(投票用紙の様式)(第三条関係)別記

最高裁判所裁判官国民審查投票

理(都村市委) 委<sup>300</sup> (道 員選区 府 会挙 町県 印管

に×を書くこと。 やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かないこと ×を書く欄 裁問 甲氮 野 官范 0) Z: 氏 名: 郎多

い紙質のものを使用しなければならない。 用紙は、折りたたんだ場合においてなるべく外部から×の記号を透視することができな

一 投票用紙に押すべき都道府県の選挙管理委員会の印は、都道府県の選挙管理委員会の定 号様式その一備考第一号において同じ。)の印をもつてこれに代えても差し支えない。 めるところにより、市町村の選挙管理委員会(特別区の選挙管理委員会を含む。別記第二

の指定都市(以下「指定都市」という。)の選挙管理委員会の印を刷込み式にしても差し支 き都道府県又は地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百五十二条の十九第一項場合に限り、都道府県の選挙管理委員会は、その定めるところにより、投票用紙に押すべ 不正行為を防止することができる方法で投票用紙を印刷することができると認められる

の下に当該同一氏名の者を区別するに足りる事項を記載する欄を設けなければならない。 第一条に規定する場合には、中央選挙管理会の定めるところにより、裁判官の氏名の欄審査」等と記載しなければならない。 いずれの審査に係る投票用紙であるかを表示する際には、「第何回最高裁判所裁判官国民四 いずれの審査に係る投票用紙であるかを表示する際には、「第何回最高裁判所裁判官国民四

その一

第二号様式(点字による投票の投票用紙の様式)(第三条関係)

第二号様式(点字による投票の投票用紙の様式)(第三条関係)

点 最高裁判所裁判官国民審查投票 やめさせた方がよいと思う裁判官がないときは、何も書かないこと。 やめさせた方がよいと思う裁判官があるときは、その氏名を書くこと。 0 注意 字 投 票 理 委 員 会 印 (市) (区) (町) (村) 選 挙 管

備考

三 いずれの審査に係る投票用紙であるかを表示する際には、「第何回最高裁判所裁判官国民き都道府県又は指定都市の選挙管理委員会の印を刷込み式にしても差し支えない。場合に限り、都道府県の選挙管理委員会は、その定めるところにより、投票用紙に押すべ場合に限り、都道府県の選挙管理委員会は、その定めるところにより、投票用紙に押すべ 一 不正行為を防止することができる方法で投票用紙を印刷することができると認められる めるところにより、市町村の選挙管理委員会の印をもつてこれに代えても差し支えない。 | 投票用紙に押すべき都道府県の選挙管理委員会の印は、都道府県の選挙管理委員会の定

審査」等と記載しなければならない。

在外投票点字投票<br/>
一 やめさせた方がよいと思う説明堂があるときは、その氏名を書くこと。<br/>
一 やめさせた方がよいと思う説明堂があるときは、その氏名を書くこと。<br/>
一 やめさせた方がよいと思う裁判官があるときは、何も書かないこと。<br/>
一 総務大臣の印は、刷込み式とする。<br/>
一 いずれの審査に係る投票用紙であるかを表示する際には、「第何回最高裁判所裁判官国民審査」等と記載しなければならない。

|第三号様式(洋上投票等における投票送信用紙の様式)(第三条関係)

別記第三号様式(洋上投票等における投票送信用紙の様式)(第三条関係)その一

備考

一 投票送信用紙は両面印刷の方法により調製しても送し支えないが、投票記載部分及び必要事項記載部分の裏面には何も印刷しないこと。

「投票送信用紙は両面印刷の方法により調製したする差し支えないが、投票記載部分及び必要事項記載部分の裏面には何も印刷しないこと。

「投票送信用紙は押さくを持ておける。

「おおままないからところにより、保事送信用紙であるかを表示する際には、「部信回最高裁判所裁判で国民事法」等と記載しなければならない。

「投票送信用紙の大きさは、日本産業制格/オ・とする。

「おおままないからとからなりないではの選挙管理を負負の定めるところにより、指定市町村の印を辿つないにして会社とない。

「技事記載部分にいずれの審査に係る投票送信用紙であるかを表示する際には、「部信回最高裁判所裁判で国民事法」等と記載しなければならない。

「技事記載部分にいずれの審査に係る投票送信用紙であるかを表示する際には、「部信回最高裁判所裁判で国民事法」等と記載しなければならない。

「技事記載部分にいずれの審査に係る投票送信用紙であるかを表示する際には、「部信回最高裁判所裁判で国民事法」等と記載しなければならない。

「技事記載部分と同じは事業」等と記載日本の日本による「としている」ととされる金融選挙述施行を第五、中に同令第五、九条の大に任る法律と受けた場合とは無さるが表示を受けた場合とは一の日本によるの規定によっての同によることとされる金融選挙述施行を第三、側に同令第五、九条の大に任る法律と受けた場合を表示します。

「おおままないる」といる。「おおままないる」といる。「おおまないる」といる。「おまないる」といる。「おおまないる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。「おおまないる。」といる。「おおまないるいる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」といる。「おおまないる。」と

その

最高裁判所裁判官国民審査在外投票

総務大臣印

| 第四号様式(在外投票用投票用紙の様式)(第三条関係)

第四号様式(在外投票用投票用紙の様式)(第三条関係)

別記第五号様式(投票録の様式)(第五条関係)

二一備審										裏								
査い総																	注"	意
審査」等と記載しなければならない。いずれの審査に係る投票用紙である総務大臣の印は、刷込み式とする。																× を書ぐ欄が	いこと。	告示順 序を示す番
査」等と記載しなければならない。いずれの審査に係る投票用紙であるかを表示する際には、「第何回最高裁判所裁判官国民総務大臣の印は、刷込み式とする。	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	裁判官の氏名の告示順序を示す番号	こと。やめさせなくてよいと思う裁判官については、何も書かな	
裁判所裁判官国民																		

安	用 級 (1)	氏 - 年後何時 - 年後何時	H	(何の職権 選任4	БЛ В Б. Л. В	職 ii 午前6	年報 2 時 7時~	間間	参会日	in in	職務f 作品	示 等を代理(管理) (管理) (を) (を) (を) (を) (を) (で) (を) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で) (で	(K) 器 NUNY NYNI 及	氏 ( 事由何)	81
氏     氏    氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏    氏    氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏     氏    氏     氏     氏     氏     氏     氏    氏    氏    氏    氏    氏    氏	新 新 新 新 新 新 新 新 新 新 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯	氏 午後何時	8	選任年	F. A. B.	職 音 午前6	等 時 四十名	(A)		edel .	職務 職務任 午前	答を代理 で理(管理 値切り~( 評職の)	等した 家) 者 知時	者の氏: 氏: 李由何:	Š,
** 者 **	Printerio E	午後何時	8	選任 年	F. A. B.	立。	時~ 午個 計 時	(A)			職務f 午前	(理 (管理 値向サー/ 野職の)	(K) 器 NUNY NYNI 及	氏 ( 事由何)	Š,
人 党   (区)   (E)   (E	Printerio E	午後何時	8	(参公金)	換	立 (	時~ 午個 計 時	(R)	参会日	专刻	職務f 午前	(理 (管理 値向サー/ 野職の)	(K) 器 NUNY NYNI 及	氏 ( 事由何)	Š,
人 党   (区)   (E)   (E	Printerio E	午後何時		(参公金)	換		D 19	(R)	* 会 !	李炯	午前	計職のi	時知及	び舞曲	-
区流はた人を思う 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 単 次 原 世 ・	Printerio E	午後何時		(参公金)	換		p4~		# 会	\$ 50l		(後) 何			_
区流はた人を思う 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 経 単 次 原 世 ・	Printerio E	午後何時		(参公金)	換		p4~		# 会目	* M		(後) 何			_
におした機能を対して、大投票を対して、大投票を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	ri		ritian			Tritish		(vga)					特何分		_
におした機能を対して、大投票を対して、大投票を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	ri		HTT5651			4-809		(vjst)					199102		
人 で 教授 と 本	ri		HTTS												
投票 注着 選任 年前回 年前回 党派 党派 選 学	ri		ritial												
注着 選任 ・	ri		H7586												
時刻 午前阿 汲び 関票 ナベ 党派	ri		HTTS												
時刻 午前阿 汲び 関票 ナベ 党派	ri		HT1851											_	
時刻 午前阿 汲び 関票 ナベ 党派	ri		rition												-
及び 関票 サベ 選挙	ri		1793 EFF												_
関原サベー党派		ta .													-
サベ 選 挙		T													
	1.4	Т													
	1.4					_	投票所	11367	人料医		_				-
		180	# 1	S 0			者	_		不	Æ	8	校	#	â
7年 五			椎	- #	投页	* *	総数		Mic.i.	粉散		受理の; を受け;		瓶否の を受け	
- 38							e 10.	る技	na.	SO HA		の数		の数	^
(88)											F		$\perp$		
(3c) (2h)		+-			-	-		-	-		+		+		-
紙(10.4	)				cent	州の事	41)	_			_				_
者 (10年)					(17.2	11000	107								_
(氏名)	()														
-															_
明紙 (氏名)															
	'														
概を														J.	
- 8		在				4				Rh	_		_	- 8	-
200	(F	ŧ .	名)			(£	ţ	名)				(F;	- 4	5)	Ξ
代理技						all, and 1	決定した						9		Ļ
の作列 投票総 理者	数			票 卢	1		と決定		>				-		
- A- 3C							卵の決定	を受けた	さ者						
		·受けた者 の決定を		*	(氏名					_	_				-
TO THE	Ser-> History	TOWAL C	3,1710	31			氏名	拖	否 の	*	曲	仮 投	100	の有	7
		26 条の度													
			-23 <b>4</b> 0/E	E-SESTERS											
Dilivate	<b>注法第:</b>	26 条の度													-
			公職選	半法第											
の例に	N CHEEKS	数の金貨		1 1	itsompleta	学管理	<b>泰昌会市</b>	Æ			_	(4) A	_		-
の例に	64	4人	19	2 i	区町村の	職員						何人			
の例に				3 ₹	の他の名							何人			_
の例に 個条の			E.	8											
	50条d 国際値 の例に 48条d	50条の投票の 国代審査決等 の例によること 48条の代理投 移動 6	20条の投票の形容 国際事金地等 20条の内 の例によることとされた 40条の代理投票の転否 終数 何人 投票管理者 (職)	第2 会の教際の拒否 国际審査法第 20 条の規定によ の何によることとされた公職権 43 条の代理教業の拒否 総数 何人 内 投票管理者 (職) 氏	回りを表示を示した。 国民等者を認定する条の規定学法等 の条の代理数率の転石 事者 総数 何人 内 2 引 を数 何人 内 2 引 表示管理者(値) 氏 名 の配載が延正であることを確認して、署名する。	(2006) 協会の提供が用記 国際業産業務 本の規定によってそ の際によることとされた公園継等技術 は多かり収度度の施言 1 市区円付 を教 例 内 2 市区円付 大阪管理者(個) 氏 名 大阪管理者(個) 氏 名 大阪管理者(個) 氏 名	(現在) 協・の受験の形容 国は事業を対象 本分別型によってそ の称ようこととされたの機能等決落 の本の代理及家の長方 1 市の四月後等日子 本名 の本の代理及家の長方 3 その他の者 対象 向人 月 2 日の他の者 及政策の報告 (職) 氏 名 及政策が減になることを確認して、著令する。	※※	「「「「「「「」」」」  「「「「」」」  「「「」」  「「「」」  「「」」  「「」」  「「  「				<ul> <li>(金の機能の形成)</li> <li>(回程を設定数 あるが確認によっても が出しまうとととはこの情報を対象を の単元が代配がが近 1 内のの中代機能を得る場合意図 (F/L)</li> <li>(申報 数</li></ul>		

R	F月何日 行				最高鉄	利所裁判官国民	審查共通投票所有	発展を					
1	共通投票所	開設場	F .										
2	共通技术	所の変!	年年	J	1	日梯	所事		,tı	告	举	q:	Я
			16	_		8 選任年月	日職務時	193	非会時刻	100	生を代理	等した	者の氏名
							午前何時へ			職務代	理(管章	) 者	氏名
3	投票货	: 18		_		+	91	安何時		7:81	何的一何	P\$ \$	由何々
			_	_						_			
4	投票立	: 2	人克	派	II;	名 選任年月	1日 立会時 午前回野~		参会特別	Anni i	辞職の後) 何時		UNMER
	索護院小選挙	区選出議員	,					例時		事由何		11.72	
(1)	選挙における												
	審査における なった者	投票立会人	٤										
(2)	投票管理者のi	催任した者	$\vdash$			(参会時							
5	共通投票所	( FE FE FE)	31 T-00	YEAVE	始 午後	(部分時	RU						
	投票箱,投票箱	及び選挙人	8										
6	海を開票管理 き投票立会人	者に送放す。	< 党派		氏名								
	Carrena		$\top$	12		#	#	Т		仮投票に	L A 2010	120	
7	数悪の	- #: ?	2 (95)	_				+					
	14 30		(50										
			(BE)										
(1)	投票用纸		-	8)			(再交付の事由)						
(2)	決定書又は判 概をした者	決書により	R (H	8)									
(3)	不在者投票の		B (JS	90)									
	を返還して投!		- 00	07									
(4)	点字により投	原をした者											
(5)	ft ff	担	oc -	(氏		名)	(Et-		6 (A)	10)	(任		8)
(43)	TC AE	114		の現在		107			H17	_	uc		-80/ - A
				_			審査人の:	氏名	报香	の 事 !	自仮	投 票	の有
						の規定によっ とされた公職							
(6)	技術相否の決)	定をした者	選挙	改第 50	条の投資	砂板器							
						の規定によっ とされた公職							
						数票の拒否							
3	共通投票所	dr zk s+ dr -	t 10.00		何人		市区町村選挙		会書記			対人 対人	
_	>< 40 1X 38 1/1	* 10 15 * 1	1 1011		1974		その他の者					MA.	
河华何	月何日凋製	All contin	198 IS 000		Ef:	9.							
th a re	、この投票級の												
		技術が			氏氏	% %							
25-14					re	-10							
		校報的	LALV.						の2第3項	の概念に、	とり出町	#KC/14	学管理委員
神 1 こ	の様式は、共通	投票所 (法第	26条の形				される公練選挙法	36 19 3					
考 1 こ 会が	指定した共通投	投票所 (法第	26 条の数	5校期	緑の様式	である。					バヤキス		ナストト
考 1 こ 会が 2 寄 3 「	指定した共通投 査人の氏名のみ 職務時間」概に	投票所 (法第 票所を除く。 の記載では、 は、投票管理	26 条の形 ) における 審査人を 服者を交替	5枚票 確認す	<b>味の様式</b> ることが ととして	である。 '困難である順 こいる場合にお	合においては、住 いて選任の御職務	所等をi を行う	日載して確認	けること	ができる 技術管理	ように	すること Mata あり
考 1 こ 会が 2 寄 3 「 数し	指定した共通投 表人の氏名のみ (職務時間) 概に くは投票管理者	投票所 (払第 原房を除く。 の記載では、 は、投票管理 が欠けた場合	26条の単 ) における 審査人を 理者を交替 )にその投	6枚版 確認す する: 素管理	味の様式 ることが ととして  者が実質	である。 ・困難である場 こいる場合にお に職務を行つ	今においては、住 いて選任の商職務 た時間を記載する	所等をi を打り こと。	B軟して確認 こととされた	3すること 2時間又は	技術管理	ように B者に相	ながあり
考 1 会 著 1 会 著 1 長 4 長	指定した共通教 査人の氏名のみ 職務時間」概に くは投票管理者 素管理者に事故	投票所 (法第 原房を除く。 の記載では、 は、投票管理 が欠けた場合 があり、若)	26条の# ) における 審査人を 理者を交替 がにその投票	5枚版 確認す する: 素管理 管理者	録の模式 -ることが - ととして  者が実質 すが欠けた	である。 「困難である場 「いる場合にお に職務を行っ に場合において	合においては、住 いて選任の御職務	所等をi を行う こと。 を行つ:	B載して確認 こととされた たとき又は#	けること: た時間又は 克奈管理者	技術管理 及び職器	ように 経費に基	R放があり なこれに準
考 1 会 著 1 会 著 4 が職	指定した共通投 査人の氏名のみ 職務時間」概に くは投票管理者 素管理者に事故 り、若しくはこま 時間及び代理等	投票所 (法第 原所を除く。 の記載では、 は、投票管理 が欠けた場合 があり、若) れらの者が共 をすることと	26条の形 審査人を 審査人を を される は は に たい に な に な に ない に ない に ない に ない に ない に ない に ない に ない に ない に ない に ない に ない に な に な に な に な に な に な に な に な に な に な に な に な に な に な 。 に な に る に な に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る 。 に る 。 と 。 に る に る 。 と 。 と 。 に る に る と 。 と と 。 と と と 。 と 。 と 。 と と 。 と 。 と 。 と 。 と と 。	5枚版 確認す 常管理 を 協合 に を を を を を を を を を を を を を を を を を を	味の様式 ることが こととして でが実践 が大けた おいて職 こ入するこ	である。 ・困難である場合にお に、服務を行っ ・場合において 務管学者が解析 ・と。	合においては、住 いて選任の前職務 た時間を記載する 職務代理者が職務 5を行つたときは、	所等をi を行う こと。 を行つ: を行つ:	B載して確認 こととされが たとき又は終 代理等した	けること :時間又は 東帯管理者 者の氏名(	技術管理 及び職者 例 欄にこ	ように B者に専 好で明ま これらの	職があり 化丸に準 2者の氏名
考 1 会 音 1 会 音 1 会 音 1 会 音 1 会 音 1 会 音 1 4 が職 「	指定した共通投 変人の氏名のみ 騒務時間」 難に くは投票管理者 素管理者に事故 り、若しくはこま 時間及び代理等 立会時間」 概に	投票所 (法第 原所を除く。 の記載では、 に、投票管理 が欠けた場合 があり、若1 れらの者が共 をすることと は、投票立会	26 条の形	5枚版 確認す 常知 常知 場合に ま するこ	味の様式 ることが実際 だが大けば が大けて おいて なることとして ととして ととして ととして ととして ととして ととして ととして	である。 「困難である場でいる場合において機務を行っ、 場合において 務管学者が解析 とし、として、 として、 といる場合において といる場合において といる場合において	今においては、住いて選任の痴職務 と時間を記載する 職務代理者が職務	所等をi を行う こと。 を行つ: を行つ:	B載して確認 こととされが たとき又は終 代理等した	けること :時間又は 東帯管理者 者の氏名(	技術管理 及び職者 例 欄にこ	ように B者に専 好で明ま これらの	職があり 化丸に準 2者の氏名
考 1 会 著 1 会 著 1 会 著 「	指定した共通投 査人の氏名のみ 職務時間」難定 くは投票者に事故 り、間及の間 の投票を ののの のの投票を のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	投票所 (法第 原所を除く。 の記載では、 は、投票場合 がかり、若引 れらすることと は、要素立ちと は、実際立ちんと をするとと をするとと をするとと	(38条の別) (38条の別) (38条の別) (28は人を (20年) (20年) (20年) (20年) (38条の別 (20年) (2	5枚版 対策である。 対策理は 場合と かるに を 合に を 合に を 合に を 合に を の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に	味の様式 一るともつ こととして をおいますが大けば まひょうな まひょうな ととして をして をして をして をして をして をして をして を	である。 「困難である場合において場合において 現合において 務管掌者が確認 と。 いる場合において である場合において である場合において では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	今においては、住いて選任の商職務 と時間を記載する 職務代明者が職務 3を行ったときは、 で選任の際立ち。 動計すること。	所等を言 を打り こと。 を行つ: 「職務を をうこと	B載して確認 こととされた たとき又は た理等した	けること: :時間又は 2票管理者 者の氏名: 間又は投き	技術管理 及び職権 別 欄にこ 原立会人	ように B者に専 好で明ま これらの	職があり 化丸に準 2者の氏名
考1 全3 若 4 が職 に そ 長 8 6 7	指定した共通投 を を を は を は を は は は は は は は は は は は は は	投票所 (法第 原所を) のの記載では、 が欠けた。 が欠けた者 にいかり、 があり者 がありること を は、 要な立を を は、 要な立と を は 、 要な で は 、 で に 、 で に 、 で に り た に り た に り た に り た に り た り た り た り	38条の形 (38条の形 (38条の形 (38条を支 (38条を支 (38を支 (48を (48 (48	5 投版が 対象が 対象を 対象を は を が を が の に が の に の に の に の に の に の に の に り に り に り に	味の核式である。 こととして 断者が欠けた まることとして を を ないでることとして を ないであることと ないであることと を はいが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 の	である。 「困難である場合において 場合において 場合において 務管拿着が駆逐 と。 いる場合におい では、 では、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 が	今においては、住 いて選任の廓珠から た時間を記載する 験後行つたときは、 いて選任の際立ち。 計計すること。 て選任されている	所等を言 を行う こと。 で行つ、「職務を をうこと	B載して確認 こととされた たとき又は た代理等した ことされた時	けること: 時間又は 要常管理者 者の氏名: 間又は投ぎ	技術管理 及び職権 別、概にこ 寛立会人 する。	ように 関格に専 が代明者 これらの	R放があり 作に別に導 分者の氏名 をした場合
考1 全 3 若 が職 に そ 数 署 公 第 「 し 投 あ 務 「 そ 投 署 公	指定した共通投 を を を は を は を は は は は は は は は は は は は は	投票所(法第の を表示を を表示を がありを ががあり者こと をする要立と をする要立と をするを があり者 にしたが があり者 にしたが があり者 にしたが があり者 にしたが があり者 にしたが があり者 にしたが があり がが にしたが がが にしたが がが にしたが がが にしたが がが にしたが がが にしたが がが にしたが がが にしたが がが にしたが がが にしたが がが にしたが にしたが がが にしたが に	35条の別 (35条の別 (35条の別 (35条を受けない (35条を使けない (35条を使けない (35条を使けない (35条を使けない (35を使けない (35を使けない (35を使けない (35を使けない (35を使けない (35を使けない (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35を使) (35 を) (35 を) (3	が 技能では で で で を の で の で の の の の の の の の の の の の の	味の様式もつまたという。 こととが実けがいてもいう。 されたいであることをする。 は、対象がは、 は、対象がは、 は、対象がは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	である。 「困難である場合」 いる場合において 場合において 総合において 総合において 統管掌者が解析 と いる場合におい に に に は の に は に は の に は に に は に は に は に	今においては、住我 いて選任の密味技 と時間を記載する 酸な行ったときは、 いて選任の概立ち。 節計すること。 て選任されている 、技業録及び選年	所等を言 を行う こと。 で行つ、「職務を をうこと	B載して確認 こととされた たとき又は た代理等した ことされた時	けること: 時間又は 要常管理者 者の氏名: 間又は投ぎ	技術管理 及び職権 別、概にこ 寛立会人 する。	ように 関格に専 が代明者 これらの	T献があ 作に共に O者の氏 をした様

飘	何月何日 行				MCINI	获判所政	PHENO	~ 11	LIK 10001	1KNOPK								何股票
1	投票所围設場所				町村役	梅) (何の	(所)											
2	投票所の変更	年	_	Я	H	場	-	_	_	所事			ılı	8	#	年	Я	В
		氏			名	遊行	年月日			医眸	[2]	参会#	ERS		務を代理			
3	投票管理者								1.991		(Allah				七姓(管 旧中一			
3	放果官理者					_				11-15	1999	_	$\rightarrow$	44	Mideh-	ielsk	争問	11.00
4	投票立会人	発	36	氏	- %	選任	年 月	Н	27	会 時	[2]	参会日	9.38		辞職の	#¥39.	及び畑	В
	衆議院小選挙区選 出職員の選挙にお								T-mif		depth.			午前 事由f	(後) 何 何々	鸣何:	9	
(1)	ける投票立会人で 審査における投票 立会人となった者																	
(2)	投票管理者の選任 した者	-		-	_	(参会		_			_		_	_		_	_	
5	投票所用閉時刻	生命医	外用外	1166	(coeff)		-0741											
6	投票第、投票線及び 選挙人名簿を開票 管理者に送金すべ き投票立会人	党派		氏名														
												る投票者		(4)	不在者! 外審査/			
7	投票の状況		人。			E 8		M	者	総 数	仮核	際によ	総数	不定	受理のを受けの数	決	拒否	の決定けた者
		(男)												1"				
		(女)		-			+		_	-	-		_	+		-		
(1)	投票用紙 再交付者	(6.8	5)					0153	州の事	<b>(</b> 11)	_					_		
(2)	決定書又は判決書 により投票をした 者	(Fb#	0															
(3)	不在者投票の用紙 及び封筒を返還し て投票した者	(154)	()															
(4)	点字により投票を した者																	A.
(m)	化图物图	折	_	IE.			A	à		v.	At 1		助		(re-		e l	8
(5)	代理投票	化肥料	関する		- %		_		(1	χ	名)		_		(Fc	_	名)	7
	投票所開鎖の時刻 までに投票管理者	投票組				票	PH		不受机	と決定し! 男と決定!	126						原原	
(6)	が透散を受けた不	不受用	加速を	を受け	た者			ド受用 長名〉	又は推	吾の決定	を受け	た者				_		_
	在者投票			酒の決		けた者	(1	(名)			_				_			
	投票指否の決定を	の例に	よるこ	:223	れたな	よってそ		查	人の	氏名	枢	香化	*	ılı	仮長	T R	0	有 無
(7)	技事指占の決定を した者	BIFCS	有法律	原の拒7 5 26 条の ととさ	>規定は	よってそ	+	_						_		_		
		第8	条の代	理技祭の	2推査			_				the			L,	_	_	
		在外(男)	選号	8.人4	5 (8)	亞級者	審	査	- 16	В	作	権者	技	票 者	(1	+	D +	ハ)
		(女)														_		
		(2f) 23 9954	FC-4004	る技術	20 (20)		1	_	_		_	_	_	_	_	_	_	_
8	在外審査人の投票 の状況	外寄言	E人に限		se GE					査人に				<u>۴</u>	报	_	Ħ	看
	9104	総数(イ)	仮設	票によ	5段票	総数(0)	不受! 受け!	壁の後		推否のi けた者の		受機		受理のけた者	決定を		否の決 た者の	定を受
		117				(47	3011	-11 V	104	111080	- 8X	- 20	1×	- A-B	30	10	~11V	**
				_	_		_	_		_	_	_	+	_	_	1		_

	投票所開鎖の時刻	投票総数		煮	卢	受理と決定したもの	票
	技術が関東の解析 までに投票管理者					不受理と決定したもの	W
(1)	が送費を受けた不					不受理又は拒否の決定を受けた者	
	在看投票	不受理の決			_	(氏名)	
		代理技業の	拒否の決定			(氏名)	
	投票所開館の時刻	投票組款		ボ	19	受難と決定したもの	M.
(2)	までに投票管理者					不受理と決定したもの	無
(2)	が過数を受けた在	707 HE 708 HA 744	dea of con-	-84	_	不受理又は拒否の決定を受けた者	
	外投票	不受理の決			- 00	(氏名)	
(3)	備 考	(CRESCHO)	他的小灰色	2000 A	on I	(408)	
100	38 -5			_	-	市区町村選挙管理委員会書記	何人
9	投票所事務益事者	独数	何人	Pf		市区町村の機能	何人
	DANGER PRODUCTION	rest.	1974			その他の者	何人
determination of	可用何日週期				_	C-Har-H	101
		投票管理者	(100)	Fc.	35		
表々に	は、この技術師の記載	が真正である	ことを確認	して、軍	名字	5.	
		投票立会人		氏	-6		
		投票立会人		Æ	- %		
10円							
		の規定により	その何によ	ること	ean.	6公職選挙法第30条の3第2項に規定す	る指定在外継挙技順区の投票所における
	原験の様式である。						
						り規定によってその何によることとされた 上場合には、その旨を「何格爾区」に続い	
000	現在により市町村の選 客をしのたちのたの際	TYPERIC	14年まする	ECHILS S	(72°O)	こ物合には、その音を「何枚明悠」に較い である場合においては、但所等を記載して	Caraca a Labora a Labora a L
						の関目までの関に審査権を有しなくなった	
						対視を記載すること。	Soon and South Courter
						P等者の総数と不在者投票の総数の計を設	様すること
7						2秋没を記載すること。	
8	「8 在外審査人の投	医の状況 横	の「投票者	横には	. 22.9	例における技術者の総数、不在者技術者	の総数及び在外技術者の総数の計を記載
	<b>ること</b> 。						
						投票用紙再交付者、決定書又は判決書に	
						7封筒を返還して投票した者、点字により	
						欄から「7(5)」欄まで又は「7(7)」欄の	
						場合において選任の病職務を行うこととさ	された時間又は投票管理者に事故があり、
						Nを行つた時間を記載すること。 こおいて職務化理者が職務を行ったとき3	
						こおいて職例で圧在か戦的を行つたとさ <i>り</i> 者が職務を行ったときは、「職務を代理等	
	高齢間及び代理等をす					The section of the se	CICHOLOGY) MICCALOS DIVIDOS
						合において調任の際立ち会うこととされ	た時間でけれずひ会との辞録を1 た場合
	その投票立会人が実際					minor composition / colors	CONTRACTOR OF THE COURT
						S書類を添けすること。	
14	署名をする数票管理者	及び投票立会	人は、投票	所の開創	(FFICE	Sいて選任されている技術管理者及び技事	「立会人とする。
						不在者投票者」欄及び「7/6」の欄に斜線	
						と又は第6条の規定によってその例による	5こととされた公職選挙法施行規則第 15
						を順区となった場合は、この限りでない。	
						投票箱、投票録及び選挙人名簿を開票官	管理者に送板すべき投票立会人」欄には、
	単箱及び投票録を開票					けること。 ヽては、その一の備考 13 に巻する。	
17	ことがあるに倒げる事項	ハエハ、紫安	こ配める事	4天9/北海	SE-23	・(は、その一の無考13に事する。	

その五 何 年 執		89					最高	M/HE	F兼秤官国代表	<b>去</b> 共通的	<b>计</b> 原所投资	na.						
2			照 所 E			th:	Я	Н	梅	B	1 *	-	(t)	告	市	46	Я	В
2	* 1	匣 奴	果朗	0) 3	2 史				選件住日日	-		80 T	北公師刻				-	
3	較	m	W	п	者	IE.		8	選任年月日		務 時 的時~ 午後	~	30 (2009)	職務代	理(管	財等した 等)者 何時 等	氏名	5.99
-	**	147	- 11	_	-	W 97		- 6	94 12 01 11		5 EA		40 (0.0044)	_	6349	6- 08-44-1 V	- N. W	
4	25	- 25	200	Ŕ	A	文 派	Fi.	46	選任年月1		会時	570	参会時刻	Acan I	(後) (印	の時刻及	び興田	
(1)	遊	計にお	選挙区 ける投 ける投	感立会	人で						午後日	epi p		事由何	IR IN	-419,0		
121	22.5	<b>内管理</b>	者の選託	Eしたi	8				(参会時间)			_						
5	共主	5 12 1	K 196 E	स म	時刻	9:60 PM	開始 午	技何	(参会時刻) 研刊的	_		_						
6	投資	<b>苏柏、</b> 花	素 素 素 現 者	び選挙	人名	光派	氏名											
		and the			30	投			×	8				仮投票に	よる概	票者		
7	段	*	Ø	状	36	(男)												_
(1)	投	原 用	紙西	交子	す者	(計) (氏名)		_		(再交付の	7事由)	_						
(2)		登書文	は判決	書によ	り投	(氏名)		_				_						_
(3)	不	E首校	票の用 (投票)	紙及び	対策	(氏名)												
(4)			) 投票(		r													
(5)	75	,		22	25		<b>寄</b> - 森氏	- 2	6)		供	3	(6)	lth T	者 (氏		8)	
(6)	R	NA STATE	の決定を	をしたり	8	てその例 選挙法第 国民審査 てその例	によるこ 50 色の社	とと 類の 条の! とと	規定によっ された公職 振否 規定によっ された公職	***	00 10	30	据 器 0	-	ch &	( R 1	( D )	有無
						拉			m	25				仮投票に	よる数	<b>州省</b>		
8	在外	寄在	人の初	変悪の	St 32	(規)												
						(B1)												
$\vdash$						俊 考				deservi	1洋浴管1	160	LO:#10			GC /		
9	共用	投票	所事	務從	本者	総数	何人		P1 2	市区町を	かの職員	EXP	CITAMIL			何人		
表	は 二価書「し換お牌「そ「「在者を法投音」 の の と で で で で で で で で で で で で で で で で で	式所の時投理与及時素投在査の者じ用するにに民間業者にび間立業外人用又て書るの書に続は、又投	録 抜けの展理事工理職人状在つ及投記は係品 26役のはががげをよ実」ので対拒を展産	載 条照記、欠めらす、階櫃投、筒否す立者を放がの場ので無た、名と窓立はの町在次と入びます。	正蔡原 定様は管場者片となち、状朴産定とを投する立 に式、理合しにと会会在提のした。突然を含め、実施を表示した。	人 こりあ在を受けていた。 いので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こ	氏氏 こととが大いてることとを含む大いです。 ことと著名が大いてるととするととなが大いでることである。 これの手名の作うでは、引無性のできる。 これの手名の作うでは、引無性のできる。 これの手名のできる。	がて際た締といったりに「 ぎの	する。 れる公職選挙 の場所を行いた職会 の場所を行いた職会 の場所を行いた場合 の場所を行いた場合 の場所を行いた場合 の場所を行いた。 の場所を行いた。 では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	こははいての記者では は関を理者と は関を明者と は して は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	は、保険が験は、会 住所をご答を向 をした。 の に の の の の の の の の の の の の の の の の の	等行と行為 こと 再選い 原理 (	E載して確認 ことときれた たとき又は招き と代理等した; ととされた時 す者、決定者者 であり、 便者及び投票	すること 時間又に 原管理名 間又は 投 又は (点字)に で の の の の の の の の の の の の の	ができる は技術等 原立会 書よから する。	るように 場合化理に これらい 人が幹価 り扱変した概 7 (6)」	するこ。 解放があ 別に共に氏 をした様 した者、代理 はでの音	と。)、 事名、 ・ お合 不投載
12	票箱及この様	び投票式に掲	級を開 げる事	原管理 項のほ	者に追か、胃	設すべき指 腰と認める	2票立会ノ 3事項の首	を記録に	載すること。 ついては、その	o―の備	考 13 に8	Pr/S						

その大何	年女	1.11	F B															
称			<b>?</b> 7					多国民業	<b>西州</b> 日前	投票所投票餘								
2				年ま		何年何月年	10											
(1)				開設		何市 (区)	92/95 (BI)	町村役場	(64cost)	SR()		_	_	_				
(2)		田前校		おける		(44) (14)												
	039	MIN)	_	_	_	IE:		8 30	任年月日	職務時間	1	P-049	91 1		\$ FE 6- 6	1885	1.00	)氏名等
						70		11 10	LL-Y-71 III	午前的時~	-	24-1	~			音楽) 7		
3	欽	票	管	理	杏					午後何時	,		_	41	HARRY	一何時	事曲位	时々
4	22	M.	立	2		Ø. 30	16 :	8 38	<b>E</b> 年月日	立会時間	- 8	P-0:49	98		FPE	路の特別	成及び青	曲
	also to	ment I	M. W.C.	жна						午前何時~				As an	( 86.7	Ares	MI CO. Y	事由何々
				原立会				_		午後何時	'		_	1.191	(18.)	199.00	19 70 1	de he lai -
(1)				原立会			1						- 1					
	4:	った者																
(9)	40.0	and Marriage of		W. 1. 1. 1					(8)	会時 90				_				
- 000				任したね						会時 加								
5	期日	前投	果疣	用用	時期		開始		後 何時				_	_	_			
						(男)		票		8	- 8	1. 技	票	(5	£	6 B	2 票	者
6	欽	票	0	状	况	(\$c)					-							
						(Bt)												
(1)				交生		(氏名)			- (	再交付の事由)								
(2)		ど書又 とした!		書によ	り投	(氏名)												
(3)	不在	生者投	際の用	紙及び	明恒	(E:%)												
(4)		を達して		した者 をした?														,
(40)	760.7	Prod.	2 DCW	2 0,01	-	市	査	,			被		1	h	-	哲		_^
(5)	代	1	100	投	泵	(8		名)		(Æ	- 6	)			(8	E	- 8	)
						代理技术者	散			審査人の氏律				の事	ale:		反投票。	
						国民審查员	第 26 条	の規定に	Tel	#EASIC:		- 11	· w ·	· · · · ·	m	Η,	CCECAPO	OHM
						その例に、			公職選									
(6)	123	RHHAY	OPPE	たしたり		学法第50 国际姿态//			1			_				-		
						その例に、												
						学法第 48	条の代理的		ti				-			L		
						(男)		票		者	- 2	夏 換	素	(5	£	5 B	2 票	者
7	在外	音去	人の名	悪の	状况	(#c)												
						(III)												
-						報考			-	TOSET 杜選爭管理	EERA	nder Gris				(41.)		
8	数日	an 10	部所書	非新年	**	40.85	何人	pA		TOS内村が毎年間と 行区町村の職員	ENDIN	MAC				何人		
										その他の者						何人		
何年	可用何	日調製		15-	m 100 ra	者 (職)	16	4.										
技術	a, E	の投票	緑の記	救が真	正でお	ることを確認	さして、岩	名する。										
				校	票立会	E.A.	Pt;	8										
傷者				校	家立会	D.	托	8										
1 3										吉第49条の2第			より見	克沙特	えて道	用され	る同法的	<b>第48条</b>
0	2 8 1 2	項の規	EK.L	り付加	村の選	学管理委員	合の物定し	た期日に	(技術所に	おける数無線の	RKC#	b6.						
2 1	群五人· 「蘇和	の氏名	のみの 際にけ	記載で	体、管理的	を必要される。 を必要する	することか	111年で	りる場合に なにおいて	おいては、住所 選仟の衛襲務を	等を記す	数して レレカ	確認さ	介るこ 体限マ	とがで け終報	さるよ	りにする	ること。 があり
若	しくは	投票管	理者が	欠けた	場合に	その技術管理	理者が実務	日に職務さ	行った時	例を記載するこ.	٤,							
										代理者が職務を								
GH:	KAYES.	及び代	理等を	するこ	ととな	つた事由を	と入するこ	ž.		守つたときは、「暖								
5	「立会	時間」	鋼には,	. 投票:	と会人	を交替するこ	ととして	いる場合	NC#BUYE	選任の際立ち会?	うことと	5h/	:時間	XIII	to and	以人が国	(職をし	た場合
						た時間を記述 審査人以外の			HID 5-25-44	-t-z-1								
						者主人以外: 欄には、在:												
8 7	在外寄	変人に	OUT	, ibu;	柱の選	学管理委员:	合の指定し	た関目	自投票所に	おいて、投票用	纸再交付	寸者、	决定	以北	州决害	により	投票を	した者、
不	在者投	悪の用	紙及び	対策を	返産し	て投票した	作、郵便等	によるど	E外投票の	用紙及び対策をi の投票の状況」権	起産して	投票	した者	r, de	12.22	り技術を	とした者	r, for
裁	かとし	ル有义 郷じて	. 紅奴祭 . 記載	抱古の をする	以定を こと。	した者があっ	perit,	· / 在	77要放人	AND STATES AND ADDRESS OF THE PERSON ADDRESS OF THE PERSON AND ADDRESS OF THE PERSON AND ADDRESS OF THE PERSON ADDRESS OF	が一般	~() B	gire, I	0(1)]	ditta-	9 10%	61 46 E	CVOGE
9 3	秋寒曾!	理者又	は投票	立会人	を交替	した場合に												
10 1	著名を	する技	票管理	者及び	数票点	会人は、期	目前投票所	の閉鎖	をこおいて	選任されている	政策管理	哲及	URR	8立会.	しとす	5.		

第六号様式(開票録の様式)(第五条関係) 何年何月何日 執 行 最高裁判所裁判官国民審查開票所開票録 開票所開設場所 何市(区)役所 開票所開設場所 開票 立 会 人 衆議院員の開票立 選出議員の開票立 会人で開票立 会人で開票さ となった者 刘選 (1) (2) 関票管理者の選 任した者 開票所開閉時刻 前(後)何時何 不 受 理 (1) 投票の内訳 数 国民審査法第22条第2項又は第3 項の規定の適用を受けたもの 罷免を可とする 投票の数、罷免 を可とない で可とない を可数及び記載 を無効とされた ものの数 名 罷免を可とする投票の数 罷免を可としない投票の数 記載を無効とされたものの数 ×の配号を自ら記載したものでないもの(審査に 付される裁判官としてその氏名が印刷された者 が2人以上の場合又は注上投票等若しくは在外 投票の場合にあっては、電配に付される裁判官 のすべてについて記載を無効とされたもの) ×の記号以外の事項を記 載したもの 所定の用紙を用いないも 点字投票以外 の投票 審査に付される裁判官が1人 の場合、審査に付される裁判 官の何人を記載したかを確認 し難いもの(審査に付される裁 判官が2人以上の場合、その すべについて記載を無効と されたもの) (3) 無効投票の内部 審査に付される 裁判官の氏名の ほか、他事を記 載したもの 審査に付される 裁判官の氏名以 外の事項のみを 記載したもの (4) 点 字 投 票 市区町村選挙管理委員会書記 市区町村の職員 その他の者 内 何年何月何日調製 開票管理者(職) 署名する。 開票立会人 開票立会人 開票立会人 名 氏

我々は、この開票録の記載が真正であることを確認して、

- 関策立会人 民 名
   1 審査に付される裁判官としてその民名が印刷られた者がおよの場合にかっては、「記載無効」に関する該当機は結線を引くものとする。
   2 審査に付される裁判官としてその民名が印刷られた者がよりの場合とかっては、「記載無効」に関する該当機は結線を引くものとする。
   2 審正付される裁判官としてその民名が印刷られた者がよたの場合。審査に付される裁判官のアイでについて法第22条和項の規定の適用を受けた役割は、5の(3)の機中の該当する箇所に犯入すること。
   3 審定に付される裁判官が入したの場合、これらずのサイマについて地震空格が見の変更を表現の変更の測を受けた役割は、5の(3)の機中の該当する箇所に犯人すること。
   6 審証に付きれる裁判官が入したの場合、これらずのサイマについて地震空を指列の変更との選用を受けた役割は、5の(3)の機中の該当する箇所に犯人すること。
   7 この機式に関係が多単項のほか、開票管理者において、関係に関し必要と認める事項があるとさは、これを記載しなければならない。この場合においては、補助用紙を使用することができる。

何人 何人 何人

第七号様式(審査分会録の様式)(第五条関係) 何年何月何日 無

6 審查分会事務従事 者

最高裁判所裁判官国民審査分会録

執 行			200,000,000	T9// (#XT9 E) E	H-C-Hr.	11.万云科				
										何審查分分
1 審查分会場開設場 所	都	(何道府	県)		户		(何	の場所)		
2 審查分会立会人	党 派		氏	名		遷任年月日	参会	時刻		選任の事由
(1) あらかじめ選任さ れた者									/	
(2) 臨時に選任された										
3 審查分会開閉時刻	何年何月何日 午前(後)何時(	阿分開会	À			何年何月何 午前(後)何				
4 審査の結果										
				有	効投票	į				
(1) 投票の内訳	投票総数	88	数	国民審査法の規定の適		条第2項、第3項 とけたもの	又は第5項	無効投	票	無効投票率
										%
罷免を可とする投	氏 名		罷免を	可とする投票	の数	罷免を可とし	ない投票の	数記載を	無効と	されたものの製
票の数、罷免を可 (2) としない投票の数										
及び記載を無効と されたものの数										
CAU,C GISSIN										
選挙人名簿に登録	:									

何年何月何日調製 我々は、この審査分会録の記載が真正であることを確認して、署名する。 審査分会立会人 審查分会立会人 審查分会立会人 氏 名

1 都道府県選挙管理委員会書記 2 都道府県の職員 3 その他の者

備考 この様式に掲げる事項のほか、審査分会長において、審査分会に関し必要と認める事項があるときは、これを記載しなければ ならない。この場合においては、補助用紙を用いることができる。

#### 第八号様式(審査録の様式)(第五条関係)

総数 何人 内

何年何月何日 開 会 最高裁判所裁判官国民審査審査録

州 云					
1 審查会開設場所	何	σ,	)	場	所
2 審 査 立 会 人	党 派	氏 名	選 任 月 日	参会時刻	選任の事由
(1) あらかじめ選任され					
*** た者					
(2) 臨時に選任された者					
3 審査会開閉時刻	何年何月何 午前(後)何			月何日 後)何時何分	閉会
4審査の結果					
(1)投票の内訳	投票総数	有効	47vmi	無効投票	
(1) 技 景 の 内 畝	仅景裕级	11 30	仅账	無効投票率	£ %
選挙人名簿に登録され ている者及び在外選挙 (2)人名簿に登録されてい	総	•	数	総数の百	分の一の数
る者の総数並びにその百分の一の数					
	氏 名	罷免を可 する投票	[と [	票 罷免を可 ない投票	『とし 票
罷免を可とする投票の (3)数及び罷免を可としな					
い投票の数					
			#		#
(4) 罷免をされないものと 決定した裁判官	氏氏氏	名) 名) 名) 名)		•	
(5) 罷免をされるものと決 定した裁判官	(氏	名) 名) 名)			
5 審查会事務従事者	総数 何人		総務省の職員 その他の者	Ą	何人 何人

何年何月何日調製 審査長(職) 名 我々は、この審査録の記載が真正であることを確認して、署名する。 審査立会人 氏

審査立会人 氏

#154 元 氏 名 審査立会人 氏 名 審査立会人 氏 名 名 審査立会人 氏 名 名 信考 この様式に掲げる事項のほか、審査長において、審査会に関し必要と認める事項があるときは、これを記載しなければならない。この場合においては、補助用紙を用いることができる。